

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
国語	国語総合	普通科	1	5	高等学校改訂版国語総合 (第一学習社)	国語便覧・新古典文法

1 学習の到達目標等

科目の概要 及び到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語を通して、論理的に意見を述べたり相手の立場や考えを尊重して話し合ったりする態度や能力を育て、「伝え合う力」を身につける。</li> <li>目的や場面に応じて適切に表現する能力や的確に読み取る能力を育てる。</li> <li>現代の文章や古典などを読み、読書に親しむ態度を育てる。</li> </ul>
-----------------	--

2 学習計画【現代文】

学期	学習内容		学習のねらいおよび到達目標
	単元	学習項目	
一学期	<b>評論(一)</b> 「独創を生む条件」	<ul style="list-style-type: none"> <li>随想的な評論の読み方を習得する。</li> <li>自体的な発想を振り返り、失敗を成功に転じさせたアイデアをもつ創造性について考えを深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評論の文章の流れをつかみ、筆者の思いや考えを論理的に理解する。</li> <li>筆者の論理的な思考方法を学び、自らの思考や視野を拡大する。</li> <li>要約文を書く手順を理解する。</li> </ul>
	<b>表現の実践</b> 文章を要約する	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の内容を的確に読み取り、簡潔にまとめる技術を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>比喩的な言い換え表現を通して筆者が伝えようとすることを、正確に読み取る。</li> <li>「二次的創造」の意義を理解し、自分に引き寄せて理解しようとする読解の姿勢を持つ。</li> </ul>
	<b>評論(一)</b> 「知的創造のヒント」	<ul style="list-style-type: none"> <li>評論文の読み方に慣れる。</li> <li>知的創造をする上で必要なことは何かを考えながら読む。</li> <li>「二次的創造」の意義を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーチのしかたを身につける。</li> <li>スピーチをするにはどのような準備が必要か理解する。</li> <li>詩の鑑賞のしかたを習得する。</li> <li>詩の技法について学ぶ。</li> <li>想像力を豊かにする。</li> </ul>
	<b>表現の実践</b> スピーチをする	<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーチの仕方、聞き方の留意点を学び、スピーチをする。</li> <li>スピーチを聞いた感想を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>短編小説のおもしろさを味わわせ、鑑賞のしかたを学ぶ。</li> <li>すぐれた描写、効果的な表現を学び、想像力・感受性を豊かにする。</li> <li>文章の論理的な構成を理解し、筆者の主張の正確な理解する。</li> <li>自己と世界を取り巻く関係について、意識的に考えられる態度を養う。</li> </ul>
	<b>詩</b> 「整のうへ」 「一つのメルヘン」	<ul style="list-style-type: none"> <li>詩にこめられた情感を理解する。</li> <li>固有の表記、表現について理解する。</li> <li>主眼や作者について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説の読解方法を習得する。</li> <li>小説の基本的な読解方法を習得する。</li> <li>近代の代表的な小説を読んで、短編小説について理解を深め、小説のおもしろさを味わう。</li> </ul>
	<b>小説(一)</b> 「羅生門」	<ul style="list-style-type: none"> <li>二項対立的な評論の読解方法を習得する。</li> <li>西洋文化と対比された、日本文化の特徴について理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説の読解方法を習得する。</li> <li>小説の読解方法を習得する。</li> <li>小説の読解方法を習得する。</li> <li>小説の読解方法を習得する。</li> <li>小説の読解方法を習得する。</li> </ul>
二学期	<b>小説(二)</b> 「夢十夜」	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説の読解方法を習得する。</li> <li>夢想的な雰囲気のある文章を読み味わう。</li> <li>登場人物の心理・行動を的確に読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説の読解方法を習得する。</li> <li>小説の読解方法を習得する。</li> <li>小説の読解方法を習得する。</li> <li>小説の読解方法を習得する。</li> <li>小説の読解方法を習得する。</li> </ul>
	<b>随想</b> 「材のいのち」	<ul style="list-style-type: none"> <li>随想の読解方法を習得する。</li> <li>宮大工の仕事を材について理解し、読解を深める。</li> <li>木が大きな工を育てるというエピソードを、ことにある問題と意識しながら読む態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の論理展開の構造を把握し、筆者の言いたいことを読み取る。</li> <li>自然で自明なものを制度との関係でとらえ直す視点を持つ。</li> <li>説明文を書く上での留意点を身につける。</li> <li>短歌の形式や表現方法、鑑賞方法を学ぶ。</li> <li>俳句の形式や表現方法、鑑賞方法を学ぶ。</li> <li>日本語への理解を深め、想像力や感受性を豊かにする。</li> <li>目的、相手に応じた手紙の書き方を身につける。</li> </ul>
	<b>評論(三)</b> 「ネットが崩す公私の境」	<ul style="list-style-type: none"> <li>評論の読解方法を習得する。</li> <li>情報化社会についての問題意識を喚起する。</li> <li>インターネットのよい点、悪い点について認識を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の論理展開の構造を把握し、筆者の言いたいことを読み取る。</li> <li>自然で自明なものを制度との関係でとらえ直す視点を持つ。</li> <li>説明文を書く上での留意点を身につける。</li> <li>短歌の形式や表現方法、鑑賞方法を学ぶ。</li> <li>俳句の形式や表現方法、鑑賞方法を学ぶ。</li> <li>日本語への理解を深め、想像力や感受性を豊かにする。</li> <li>目的、相手に応じた手紙の書き方を身につける。</li> </ul>
	<b>表現の実践</b> 説明文を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>物や事柄の書き方を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>短歌の形式や表現方法、鑑賞方法を学ぶ。</li> <li>俳句の形式や表現方法、鑑賞方法を学ぶ。</li> <li>日本語への理解を深め、想像力や感受性を豊かにする。</li> <li>目的、相手に応じた手紙の書き方を身につける。</li> </ul>
	<b>短歌と俳句</b> 「その子二十」 「こころの帆」	<ul style="list-style-type: none"> <li>短歌や俳句の鑑賞のしかたを習得する。</li> <li>近代短歌・俳句の代表的な歌人・作品について、理解を深める。</li> <li>短歌や俳句に描かれた情景や心情を読み味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>想像力的感性と人間的知性への貢献として小説の問題を考える。</li> <li>現在、過去という深みのある構造の中で人間をとらえる視線を養う。</li> <li>論理的な文章を読解する技術を習熟させる。</li> <li>自分を取り巻く世界を相対的に見る視点を養う。</li> </ul>
	<b>表現の実践</b> 手紙の書き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>手紙の形式をふまえたうえで、自分らしさがうかがえる手紙を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手紙の形式をふまえたうえで、自分らしさがうかがえる手紙を書く。</li> </ul>
三学期	<b>小説(三)</b> 「城の崎にて」	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説の読解方法を習得する。</li> <li>近代の代表的な小説を読んで、小説への理解を深める。</li> <li>そのおもしろさを味わう。</li> <li>生と死について認識と考察を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>想像力的感性と人間的知性への貢献として小説の問題を考える。</li> <li>現在、過去という深みのある構造の中で人間をとらえる視線を養う。</li> <li>論理的な文章を読解する技術を習熟させる。</li> <li>自分を取り巻く世界を相対的に見る視点を養う。</li> </ul>
	<b>評論(四)</b> 「『間』の感覚」	<ul style="list-style-type: none"> <li>二項対立的な評論の読解方法を習得する。</li> <li>例证的に読み取り、筆者の主張へと集約させる</li> <li>読解方法を習得する。</li> <li>西洋文化と対比された、日本文化の特徴について理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見文の書き方をふまえ、テーマについて自分の意見をまとめた意見文を書く。</li> <li>意見文を発表する。</li> </ul>
	<b>表現の実践</b> 意見を述べる	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見文の書き方をふまえ、テーマについて自分の意見をまとめた意見文を書く。</li> <li>意見文を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見文を書くときの留意点を理解する。</li> </ul>

3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	◎評価の観点				
	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	国語や言語文化に関する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じて、筋道を立てて適切に文章に書く。	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。	表現と理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身に付けている。
◎評価方法 授業等に学習過程における「評価の5観点」に基づいた評価、授業中の発言や発表、ノート点検、提出物、小テスト、レポート、定期考査の成績、出席状況を総合して評価する。					

4 学習のアドバイス

国語はすべての教科の基本となるものです。日頃から言葉に敏感になり、自分の言語能力を高めようとする意識を持ってください。何といたっても、大切なことは主体的に授業を受けることです。授業では、自分の考えを持つように心掛け、どんどん発言や質問をしてください。授業の理解度を深めるためにも 予習、復習などの家庭学習をしっかりと行ってください。

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
国語	国語総合	商業科	1	4	新編国語総合（東京書籍）	国語便覧

1 学習の到達目標等

科目の概要及び到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語を通して、論理的に意見を述べたり、相手の立場や考えを尊重して話し合ったりする態度や能力を育て、「伝え合う力」を身につける。</li> <li>・目的や場面に応じて適切に表現する能力や的確に読み取る能力を育てる。</li> <li>・現代の文章や古典などを読み、読書に親しむ態度を育てる。</li> </ul>
-------------	--

2 学習計画

学期	学習内容		学習のねらいおよび到達目標
	単元	学習項目	
一学期	随想(一) 「隣の校庭」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随想独特の表現の工夫を理解する。</li> <li>・筆者的「気分」の変化を表現に即して理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句の意味を的確に理解する。</li> <li>・筆者の日常の体験から生まれたものの見方や考え方を理解する。</li> </ul>
	小説(一) 「とんかつ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材文に描かれている母子の情愛とそれを理解する。</li> <li>・登場人物の心づもる宿屋の女将の心情を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全文を体解する。とらえて概要を把握し、物語の展開を体解する。</li> <li>・登場人物の心を描かれた場面ごとに追い、その歴史的変名を注意して古文独特の表現法を理解する。</li> </ul>
	古文(一) 「児のそら寝」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読を正確にできるようにする。</li> <li>・古語辞典の使い方を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的変名を注意して古文独特の表現法を理解する。</li> <li>・話し手、動作の主語に注意し、話の展開を体解する。</li> </ul>
	話す・聞く スピーチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチの仕方を理解し、スピーチをする。</li> <li>・他者のスピーチを聞き感想を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチのしかたを理解し、準備をしてスピーチを行う。</li> <li>・他者のスピーチを聞いた感想を書く。</li> </ul>
	小説(三) 「羅生門」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説という表現形式を通じ、人間の心理がどのような状況で変化していくかを理解する。</li> <li>・登場人物の行動や心情について、読み味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下人の心理がどのような状況で変化していくかを理解する。</li> <li>・日常の中で考える善と悪と、下人のように追い詰められる状況の中で考える善と悪との違いを理解する。</li> </ul>
	古文(二) 「季武が従者、主の矢先をはずすこと」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長い文章の読解を通じて古語の語彙を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説における作者の主張とは何かを理解する。</li> <li>・古文の長め文章に慣れると同時に、場面展開、主人公の心理変化を理解する。</li> </ul>
漢文(一) 「五十歩百歩」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閑話慣れた文が生まれる背景を、故事原形に上らねて理解する。</li> <li>・詩の持つ表現の効果を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文の学訓法を理解する。</li> <li>・漢文の訓読法を理解する。</li> <li>・漢文の語彙や内容の分類、基本的な詩の修辞技巧を理解する。</li> </ul>	
二学期	詩 「二十億光年の孤独」 「冬が来た」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詩の持つ表現の効果を理解する。</li> <li>・詩の持つ表現の効果を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詩の持つ表現の効果を理解する。</li> <li>・詩の持つ表現の効果を理解する。</li> </ul>
	評論(一) 「おカネでは買えないもの」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人間が継承できる真理」と「人間が継承できない真理」の意味を正確に理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論者における筆者の論理の組み立てを理解する。</li> <li>・筆者の主張を正確に理解し、自分の意見を深める。</li> </ul>
	古文(三) 「徒然草」 「方丈記」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兼好法師や鴨長明の主張や考え方を理解する。</li> <li>・兼好法師や鴨長明の主張や考え方を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の対話の内容を正確に理解する。</li> <li>・それぞれの話に述べられている筆者の主張や教訓を理解する。</li> </ul>
	書く 通知と案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通知文、手紙文の基本的な書き方を理解する。</li> <li>・実際に書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通知文、手紙文の基本的な書き方を理解する。</li> </ul>
	随想(二) 「りんごのほっぺ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「赤いほっぺの少年」の運命を正確に理解する。</li> <li>・「赤いほっぺの少年」の運命を正確に理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下ラマの立ち姿を正確に理解する。</li> <li>・筆者的な文章の理解する。</li> </ul>
	漢文(二) 「唐詩八首」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近景詩の心情を表現していることと理解する。</li> <li>・漢詩の形式法を正確に理解する。</li> <li>・漢詩の形式法を正確に理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文の学訓法を理解する。</li> <li>・漢文の訓読法を理解する。</li> <li>・漢文の語彙や内容の分類、基本的な詩の修辞技巧を理解する。</li> </ul>
三学期	短歌・俳句 「その子二十」 「こころの帆」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短歌・俳句の基本的な修辞技巧を理解する。</li> <li>・短歌・俳句の基本的な修辞技巧を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代短歌・俳句の代表的な歌人・作品について、理解を深める。</li> <li>・短歌や俳句に描かれた情景や心情を読み味わう。</li> </ul>
	話す・聞く・書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の体験を「聞き書き」することと理解する。</li> <li>・他者の体験を「聞き書き」することと理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューによる取材の方法を理解する。</li> <li>・インタビューによる取材の方法を理解する。</li> </ul>
	評論(二) 「自己基準と他者基準」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の意見に対する自分の考えを展開する。</li> <li>・自己基準「他者基準」と「価値観」の関係を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論文の構成を理解すると同時に、評論文特有の抽象的な語句も理解する。</li> <li>・段落ごとに筆者の論旨の展開を追い、筆者の意見と特徴を理解する。</li> </ul>
	古文(三) 「折々の歌」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的人の心情とその時代背景を理解する。</li> <li>・基本的人の心情とその時代背景を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三大歌集の内容と特徴を理解する。</li> </ul>
	書く 意見文を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見文の書き方を学び、実際に書く。</li> <li>・発表をし、他の人の意見を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を論理的に文章にまとめることを理解する。</li> </ul>
	漢文(三) 「論語十章」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・孔子のものの見方や考え方について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文の訓読・句法を理解する。</li> <li>・古代中国の思想を理解する。</li> </ul>

3 評価方法

評価の観点・評価の方法	◎評価の観点				
	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	国語や言語文化に関する関心を深め、向上したりを尊重し、進んで表現したり、理解し伝え合うとする。	自分の考えをまとめて、目的や場面に立って話したり、筋道を立てて話したり、的確に聞き取る。	自分の考えをまとめて、相手筋道を立てて、適切に文章に書く。	自分の考えを深めたり、発展させたりしながら、目的に応じて文章を的確に読み取り、読書に親しむ。	表現と理解に役立つための音声・句文法・表記・語彙・漢字等を理解し、知識を身に付けている。
◎評価方法 授業等に学習過程における「評価の5観点」に基づいた評価、授業中の発言や発表、ノート点検、提出物、小テスト、レポート、定期考査の成績、出席状況を総合して評価する。					

4 学習のアドバイス

国語はすべての教科の基本となるものです。日頃から言葉に敏感になり、自分の言語能力を高めようとする意識を持ってください。何といっても、大切なことは主体的に授業を受けることです。授業では、自分の考えを持つように心掛け、どんどん発言や質問をしてください。

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
地理 歴史	世界史A	普通科 商業科	2年 3年	2	世界史A 新訂版 (実教出版)	最新世界史図説タペストリー(帝国書院) 世界史要点ノート(啓隆社)

1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	「世界史A」とは、世界の歴史の大きな流れと特質を、近現代史を中心に学習する科目です。世界の歴史を、我が国の歴史と関連づけながら理解し、人類の課題を多角的に考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につけることが科目の目標です。
---------------------	---

2 学習計画

学 習 内 容		学習のねらいおよび到達目標
単 元	学習項目	
第Ⅰ部 諸地域世界と 交流圏	第1章 諸地域世界と文明 第2章 諸地域世界の交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸地域世界の社会・文化の特質を、風土や生活、言語や思想などの視点から考察し理解する。</li> <li>・諸民族の交流の様子を理解する。</li> <li>・16世紀以降の、ヨーロッパ主導による世界の一体化と、それに伴って世界が変わっていく様子を考察し理解する。</li> <li>・アジアの諸帝国の政治や社会の特色をとらえる。</li> <li>・ルネサンスや宗教改革などの政治・文化の新しい気運について考察し理解する。</li> <li>・18世紀以降、欧米諸国に市民社会が誕生し、国民国家の形成が進行したことを考察し理解する。</li> <li>・ウィーン体制下での自由主義や国民主義の高まりが、イギリスなどの諸改革やドイツなどの国民国家形成運動の原動力となったことを理解する。</li> <li>・アジア諸国内部で進行していた変化と、ヨーロッパの進出によってアジア諸国の社会に引き起こされた変貌をとらえながら、19世紀の世界一体化とその特質を考察し理解する。</li> </ul>
第Ⅱ部 一体化する世界	第3章 アジア諸帝国とヨーロ ッパの主権国家体制 ・一体化に向かう世界 ・イスラーム諸国家の 成熟 ・清帝国と東アジア ・ヨーロッパの主権 国家体制 ・大西洋交易圏と世界 第4章 ヨーロッパ・アメリカ の諸革命と世界の変動 ・工業化社会の到来 ・アメリカの独立と ヨーロッパの革命 ・近代国民国家の形成 と展開 ・アジア・アフリカ・ 南米の変動 ・東アジアと日本の動向	
第Ⅲ部 現代の世界と 日本	第5章 現代世界のあゆみ ・第一次世界大戦と ロシア革命 ・戦間期の世界 ・民族運動の高揚 ・第二次世界大戦 第6章 第二次世界大戦後の 世界 ・冷たい戦争 ・第三世界の解放と混迷 ・多極化と冷戦の終結	

3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	近現代史について、我が国と関連づけながら理解し、その知識を身につけることができたか。また、その知識をもとに人類の課題を多面的・多角的に考察しようとしているかにより評価する。 評価は、定期考査の得点と課題提出点、受講状況、発問をもとに100点法で評価する。
-----------------	--

4 学習のアドバイス

授業では、世界の各地の歴史を扱います。多くの用語（地名・人名・事件名など）が出てきます。それらのものの相互の関連を意識して「全体」を一つの「流れ」として見ていくように学習を進めてください。個々バラバラに暗記しようとするとうまくいきません。
---

平成20年度 シラバス

富山県立氷見高等学校

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
地理 歴史	日本史A	普通科 商業科	2年 3年	2	高校日本史A 新訂版 (実教出版)	最新日本史図表 新編日本史図表

1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本列島で展開した歴史を、諸外国や周縁世界との関係を視野にいれながら理解する。</li> <li>・開国、明治維新を経て、近代日本が急速に形成された過程について、国際環境と関連付けて理解する。</li> <li>・戦後の民主化と復興、経済発展について、世界の動向と関連付けて理解すると共に、国際社会に生きる資質を養う。</li> </ul>
---------------------	--

2 学習計画

学 習 内 容		学習のねらいおよび到達目標
単 元	学習項目	
[第1編]	歴史と生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各時代における生活様式の特徴や発展について理解する。</li> <li>・開国が日本に与えた影響を理解する。</li> <li>・幕末政治過程の基本的な流れを理解する。</li> <li>・新政府が中央集権化を確立していく過程を理解する。</li> <li>・日清日露戦争を経て、日本が大陸に進出していく過程を理解する。</li> </ul>
[第2編] 第1章 大日本帝国の誕生	近代・現代 開国 江戸幕府の滅亡 明治維新 立憲体制の成立 日清・日露戦争	
第2章 大日本帝国の展開	第一次世界大戦 大正デモクラシー 第二次世界大戦 太平洋戦争	
第3章 日本国憲法と現代 の世界	戦後世界と日本 民主化の推進 高度経済成長 低成長への転換 バブル経済 21世紀の世界と日本	

3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史の流れと時代の特徴を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断できるか。</li> <li>・定期考査の成績をもとに小テスト、平常の学習態度、課題の提出状況を加えて総合的に判断する。</li> </ul>
-----------------	--

4 学習のアドバイス

日本史の学習で重要なことは、歴史の流れと因果関係を理解することです。人名や事項・事件名などの歴史用語をただ暗記しようとしても、歴史はなかなか理解できません。なぜそうなるのか、なにが原因なのかを考えることにより、歴史の流れや関連が理解でき、用語も自然に頭に入ります。授業では、常に歴史の流れを意識して、臨んで下さい。

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
地理 歴史	地理 A	普通科 商業科	2年理系 3年	2	高等学校 新地理 A 初訂版(帝国書院)	新詳高等地図初訂版(帝国書院) 新詳地理資料 COMPLETE(帝国書院)

1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
---------------------	---

2 学習計画

学 習 内 容		学習のねらいおよび到達目標
単 元	学習項目	
I - 1 球面上の世界と地域構成	球面と平面の世界 世界地図の種類と特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球儀と地図の違いを理解し、各国の位置関係・包囲を正しく理解する。</li> <li>様々な世界地図の特徴と用途について理解する。</li> <li>時差の計算方法と世界の時刻の仕組みを正しく理解する。</li> <li>世界の交通網及び貿易に関する資料の収集・分析などを通して、世界諸地域間の結びつきの現状と地域差を考察する。</li> <li>余暇活動の多様化に関する地域性や動向を地理的環境と関連づけて考察する。</li> </ul>
2 結びつく現代世界	時差の求め方	
3 多様さを増す人間行動と現代世界	世界を結ぶ交通 拡大する世界の貿易 行動権の拡大と地域差	
4 身近な地域の国際化の進展	様々な余暇活動	
II - 1 人間生活を 取り巻く環境	人々の生活と地形 人々の生活と気候	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の諸地域の自然環境を形成する地形・気候を、生活・文化と関連づけて考察する。</li> <li>世界の諸地域の生活・文化の特色や動向を考察する視点や方法を習得する。 の特色について理解できる。</li> <li>日本との共通性・異質性を地理的に考察する視点や方法によって韓国・ロシアの生活・文化の特色を理解する。</li> </ul>
2 世界の諸地域の生活・文化	中国・東南アジア・ インド・ヨーロッパ ・アメリカ合衆国・ ラテンアメリカ・オ ーストラリア	
3 近隣諸国の生活・文化と日本	韓国・ロシアの生活 と文化	
III - 1 地球的課題 と私たち	世界の人口問題 世界の食料問題 世界の都市・居住問題 世界の資源・エネルギー問題 世界の環境問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の人口問題・食料問題・都市居住問題・資源エネルギー問題・環境問題を先進国と発展途上国の事例を通して追究し、解決への取り組みを考察する。</li> <li>近隣諸国や日本が取り組んでいる森林破壊問題や大気汚染問題を地域性をふまえて追究し、その解決のための国際協力の必要性、及び日本の役割について考察する。</li> </ul>
2 近隣諸国が取り組む課題と日本の役割	近隣諸国の森林破壊への取り組み 近隣諸国の大気汚染への取り組み	

3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>地理の系統的知識と地誌的知識を身に付け、総合的観点から現代世界をとらえることができる。</li> <li>地表面に具現化された事象における、自然と人間との因果関係を多角的に分析し、現代世界における課題の解決方法を考察し、判断する。</li> <li>地形図や地図・景観写真を読みとり、地理事象を理解する。</li> <li>地理的事象のメカニズムや人間との関わりについて関心を持ち、意欲的に課題を追究しようとする。</li> <li>1、2学期の評価は考査の得点と課題提出点、受講状況、発問をもとに100点法で評価する。</li> </ul>
-----------------	--

4 学習のアドバイス

地形や気候などの基礎的な学習事項をしっかり理解しないと、後で学習する農業・水産業や都市・村落、衣食住の分野で授業の進度についていけなくなります。また、毎日の授業や家庭学習では板書事項を書き写すだけでなく、積極的に地図帳に親しみ国名や地名など少しでも多くの地理的な知識を身につけていきましょう。

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
地理 歴史	日本史B	普通科	2年 3年	4 4	新日本史B (桐原書店)	最新日本史図表 必携日本史用語

1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本列島で展開した歴史を、諸外国や周縁世界との関係を視野にいれながら理解する。</li> <li>・日本の文化と伝統がどのように育まれてきたかについての認識を深める。</li> <li>・日本人として必要なこれらの知識をふまえて、歴史的思考力を培い、国際社会に生きる資質を養う。</li> </ul>
---------------------	--

2 学習計画

学 習 内 容		学習のねらいおよび到達目標
単 元	学習項目	
1 - 1 日本文化の黎明	原始社会 ヤマト政権の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原始時代の日本列島における道具や生活様式の特色や発展について理解する。</li> <li>・国家の形成と律令体制の確立の過程を、東アジア世界との交流に着目しながら理解する。</li> <li>・古代国家の推移と国風文化の展開及び中世社会の萌芽について理解する。</li> <li>・武家政権の形成過程と鎌倉新仏教など文化に見られる新しい気運について理解する。</li> <li>・中世社会の多様な展開や武家・公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽などについて理解する。</li> <li>・ヨーロッパ世界との接触とその影響を理解する。</li> <li>・織豊政権、幕藩体制の特質について理解する。</li> <li>・幕府支配の方針転換とその背景を理解する。</li> <li>・諸産業、文化の発展を理解する。</li> <li>・幕藩体制の動揺と一連の幕府改革の関連を理解する。</li> <li>・開国と幕末動乱および明治維新の考察を深め、経緯について理解する。</li> <li>・自由民権運動から憲法制定、議会開設までの経緯を理解する。</li> <li>・日本の条約改正交渉の経緯を理解する。</li> <li>・日本における資本主義の発展過程を考察する。</li> <li>・第一次世界大戦前後の日本の外交・軍事上の行動を理解する。</li> <li>・政党政治、大正デモクラシーの思潮を理解する。</li> <li>・15年戦争の原因、実態、内外への影響などを考える。</li> <li>・戦後改革の意義を理解する。</li> <li>・冷戦が日本に与えた影響を考える。</li> <li>・日本の戦後発展の経緯を理解する。</li> <li>・現代の日本を取り巻く様々な課題を認識する。</li> </ul>
2 古代国家の形成と東アジア	飛鳥時代 律令体制の成立	
3 古代国家の推移と社会の変化	奈良時代 摂関政治	
2 - 1 武家政権の成立	鎌倉幕府 執権政治	
2 武家政権の展開と社会の変化	室町幕府 戦国動乱	
3 - 1 織豊政権と幕藩体制の形成	織豊政権 幕藩体制	
2 産業経済の発展と文化	経済の発展 元禄文化	
3 国際環境の変化と幕藩体制の動揺	幕政の改革 幕政の衰退 化政文化	
4 - 1 明治維新と立憲体制の成立	明治維新 自由民権運動	
2 国際関係の推移と立憲国家の展開	条約改正 日清・日露戦争 明治文化	
5 - 1 第一次世界大戦と日本の動き	第一次世界大戦 ワシントン体制 政党政治	
2 第二次世界大戦と日本	恐慌と日中戦争 第二次世界大戦	
6 - 1 戦後日本の動向と国民生活	民主化の推進 占領政治の転換	
2 東西冷戦と日本の動向	高度経済成長	
3 現代の日本と世界	国際経済体制の変化	

3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断できるか。</li> <li>・定期考査の成績をもとに小テスト、平常の学習態度、課題の提出状況を加えて総合的に判断する。</li> </ul>
-----------------	--

4 学習のアドバイス

日本史の学習で重要なことは、歴史の流れと因果関係を理解することです。人名や事項・事件名などの歴史用語をただ暗記しようとしても、歴史はなかなか理解できません。なぜそうなるのか、なにが原因なのかを考えることにより、歴史の流れや関連が理解でき、用語も自然に頭に入ります。授業では、常に歴史の流れを意識して、臨んで下さい。

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
地理 歴史	地理B	普通科	3年	4	新詳地理B最新版 (帝国書院)	新詳高等地図帳最新版 新地理B要点ノート

1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の地理的事象を系統的、地理的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。</li> <li>・地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。</li> </ul>
---------------------	---

2 学習計画

学 習 内 容		学習のねらいおよび到達目標
単 元	学習項目	
I - 1 自然環境と生活 2 資源と産業 3 生活と文化	世界の地形 世界の気候 産業の発達と変化  衣食住 村落と都市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の地形・気候について、それぞれの特徴と人間生活への影響を考察する。</li> <li>・農業・工業の発達や立地の特色、地域の特色や変化について具体的事例を元に考察する。</li> <li>・衣食住について、その地域的差違を大観し、社会との関わりや変化を考察する。</li> </ul>
II - 1 市町村規模の地域の調査 2 地域を見る方法 3 国家規模の地域の調査 4 州・大陸規模の地域の調査	身近な地域の調査 離れた地域の調査  アメリカ・オーストラリア・インド 西・中央・東南アジア・ヨーロッパ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域や離れた地域の調査の進め方を習得する。</li> <li>・離れた地域の調査について、資料調査や文献調査の進め方を習得する。</li> <li>・地域のスケールや視点による地域の見方の違いを理解する。</li> <li>・国家規模の地域調査方法を習得する。</li> <li>・州・大陸規模の地域調査方法を習得する。</li> </ul>
III - 1 近隣諸国の研究 2 結びつきを強める現代社会の諸問題のとらえ方 3 地図化してとらえる現代社会 4 地域区分でとらえる現代社会	韓国・中国・ロシア 国家・貿易・交通・経済圏  地図化によってわかること 地域区分でとらえる課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣諸国について、日本との共通性や異質性、交流に着目して考察する。</li> <li>・世界の国々の結びつきをとらえ、歴史的な流れと現状の課題を理解する。</li> <li>・地図化のメリット考察し、地図化の技能を習得する。</li> <li>・地域区分の目的・方法を理解し、現代の課題を考察する。</li> </ul>
IV - 1 人口・食料問題 2 都市・居住問題 3 環境・エネルギー問題 4 民族・領土問題	さまざまな人口・食料問題 世界、日本の都市・居住問題 世界、日本の環境・エネルギー問題 世界の民族・領土問題 民族の共生へ向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界人口の偏りや移動の特徴をとらえ、人口問題と食料問題の関わりを理解する。</li> <li>・具体例を用いて、世界そして日本の都市問題を理解する。</li> <li>・地球規模の環境・エネルギー問題について理解し、日本の果たすべき役割を考える。</li> <li>・世界の人種・民族の違いを理解し、民族の多様性からくる諸問題と解決策を考える。</li> <li>・各国の外国人労働者や少数民族に対する取り組みを通して、民族の共生について考察する。</li> </ul>

3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地理的事象を世界的視野に立って多角的、多面的に考察しているか。</li> <li>・定期考査の成績をもとに、平常の学習態度や課題提出状況を加味して総合的に判断する。</li> </ul>
-----------------	---

4 学習のアドバイス

地理は、様々な分野の要素が含まれます。普段から新聞やニュースなども関心をもって接しましょう。授業に臨みながら、常に地図帳で確認するようにしましょう。

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
公民	現代社会	普通科 商業科	1年 全クラス	2	高等学校 改訂版 現代社会 (第一学習社)	最新現代社会資料集 2007 (第一学習社)

1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現代社会と人間について、広い視野に立って理解を深める。</li> <li>2 変化の激しい現代社会の諸問題に対して関心を高め、自ら課題を設定して主体的・意欲的に追求し、課題解決的な力を育む。</li> <li>3 自らの個性を発揮し、考察していく学習を通して、良識ある公民としての必要な能力と態度を育てる。</li> </ol>
---------------------	---

2 学習計画

学 習 内 容		学習のねらいおよび到達目標
単 元	学習項目	
第1編 現代に生きる私たちの課題	地球環境問題 資源エネルギー問題 科学技術の発達 生活と宗教芸術 豊かな生活	・現代社会に関する課題を設定し、倫理、社会、文化、政治、経済など様々な観点から課題を追求する学習を通して、現代社会への関心を高め、いかに生きるかを主体的に考えることの大切さについて自覚を深めさせる。
第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方	現代社会の特質と変化  現代に生きる青年  現在の経済社会と私たちの生活  国際経済の動向と日本の役割  現代の民主政治と私たちの生活  国際政治の動向と日本の役割  現代に生きる倫理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の特質と社会生活の変化について理解し、その中で自分たちの生き方を考えさせる。</li> <li>・生涯における青年期の意義と自己形成の課題について考えさせ、青年の生き方について自覚を深めさせる。</li> <li>・財政の仕組みや租税の意義、資金の循環と金融機関の働きに関わる政府の役割などについて理解し、それらの課題について考察させる。</li> <li>・国際経済に関する諸問題について理解し、国家間の相互依存が深まっている現代の国際経済の特質について考察させる。</li> <li>・日本国憲法の基本原則を国民生活との関係から理解し、民主政治における個人と国家について考えさせる。</li> <li>・国際政治に関する諸問題について理解し、国連などの国際組織の役割と、国際社会における日本の役割について考察させる。</li> <li>・人間の尊厳と生命の尊重に関する今日的課題について考えさせる。</li> </ul>

3 評価方法

評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広い視野に立って、現代の社会と人間についての基本的な概念を理解できたか。</li> <li>・現代社会の諸問題について、主体的に考え公正に判断する力を養うことができたか。</li> </ul>
評価の方法	定期考査の成績をもとに、平常の学習態度、レポートや課題の提出状況を加えて総合的に判断する。

4 学習のアドバイス

「現代社会」は、現実の生活と直接結びついた事柄を学習する科目ですので、新聞を読んだり、ニュースを聞いたりして、できるだけ学習の対象に幅を持たせてください。  
また、公民の科目は暗記科目と考えている人が多いようですが、この学習を通して、広い視野に立ったものの見方、考え方を養い、自分の生き方を考えましょう。

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
数学	数学I 数学II	普通科	1年	2 1	改訂版新編数学I (数研出版) 改訂版新編数学II (数研出版)	改訂版クリアー数学I (数研出版) 改訂版クリアー数学II (数研出版)

### 1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	数学Iでは方程式と不等式、2次関数及び図形と計量、数学IIでは式と証明、複素数と方程式について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。
---------------------	--

### 2 学習計画

学期	月	学 習 内 容		学習のねらいおよび到達目標
		単 元	学習項目	
一 学 期	4	第1章	方程式と不等式	数を実数まで拡張することの意義を理解し、式の見方を豊かにするとともに、1次不等式及び2次方程式について理解を深め、それらを活用できるようにする。 2次関数について理解し、関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識するとともに、それを具体的な事象の考察や2次不等式を解くことなどに活用できるようにする。
	5	第1節	式の計算	
		第2節	実数	
	6	第3節	方程式と不等式	
		第2章	2次関数	
	7	第1節	2次関数とグラフ	
第2節		2次関数の値の変化		
二 学 期	9	第3節	2次不等式	直角三角形における三角比の意味、それを鈍角まで拡張する意義及び図形の計量の基本的な性質について理解し、角の大きさなどを用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。
	10	第3章	図形と計量	
		第1節	三角比	
	11	第2節	正弦定理と余弦定理	
		第3節	図形の計量	
三 学 期	1	数学II 第1章	式と証明	式と証明についての理解を深め、方程式の解を発展的にとらえ、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことや因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。
	2	第1節	式と計算	
		第2節	等式・不等式の証明	
	3	第2章	複素数と方程式	
		第1節	複素数と方程式の解	
	3	第2節	高次方程式	

### 3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	数学的な活動を通して、方程式と不等式、2次関数及び図形と計量における考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしているかどうか。 数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えているかどうか。 定期考査・実力テストでの成績に、傍用問題集やチャート課題の提出状況を平常点として加えて、総合的に判断する。
-----------------	---

### 4 学習のアドバイス

自ら意欲的に、授業に先行して教科書の内容に取り組むための予習を心がける。 定義→定理(公式)→問題演習という流れを大切にし、自分の問題点を明確にする。 問題点や疑問点はそのままにせず、先生に質問して解消する。 問題演習を繰り返し行い、解き方、考え方の定着を図る。
--

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
数学	数学 I	商業科	1年	2	新数学 I (東京書籍)	ニューファースト 新数学 I (東京書籍)

### 1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	数と式、方程式と不等式、2次関数及び図形と計量について理解し、基礎的な知識を身につけさせるとともに、問題を処理する技能を習熟させる。また、身につけた知識や技能を用いて、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばし、活用する態度を育てる。
---------------------	--

### 2 学習計画

学期	月	学 習 内 容		学習のねらいおよび到達目標	
		単 元	学習項目		
一 学 期	4	プレリユード		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学時の復習をする。</li> <li>・ 同類項をまとめて整式を整理するとともに、整式の加法、減法、乗法ができるようにする。</li> <li>・ 乗法公式を利用して展開したり、乗法公式を逆に用いて因数分解ができるようにする。</li> <li>・ 「たすきがけの因数分解」が確実にできるようにする。</li> </ul>	
		1章 数と式			
	5	整式	1 整式		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有理数、無理数、分母の有理化などの用語を理解し、根号を含む式の計算ができるようにする。</li> <li>・ 不等式及び不等式の解の意味、性質を理解し、1次不等式が解けるようにする。</li> </ul>
			2 整式の加法・減法		
			3 整式の乗法		
	6	実数	4 乗法公式		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 因数分解、平方根の考えを用いての2次方程式の解法を理解する。</li> <li>・ 解の公式を十分に活用できるようにする。</li> <li>・ <math>D=b^2-4ac</math> を用いて、実数解の個数が求められるようにする。</li> </ul>
			5 因数分解		
7	2次方程式	1 不等式と不等式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次関数を復習し、2次関数のグラフの特徴及び平行移動について理解し、グラフが書けるようにする。</li> <li>・ 2次関数のグラフを書くための式変形(平方完成)ができるようにする。</li> </ul>		
		2 不等式の解き方			
		3 不等式の応用			
二 学 期	9	2次方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次関数の最大値・最小値が求められるようにする。</li> <li>・ 2次関数とx軸の位置関係を利用して2次不等式が解けるようにする。グラフとx軸の交点を求めるには2次方程式を利用することも理解する。</li> </ul>		
		1 2次方程式とその解き方			
三 学 期	10	2次方程式の解の公式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鋭角の三角比(tan, sin, cos)の意味を理解し、その有用性を学ぶ。</li> <li>・ 三角比の相互関係の公式を利用できるようにする。</li> </ul>		
		2 2次方程式の応用			
	11	3章 2次関数		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 座標を用いて三角比を鈍角まで拡張しても鋭角と同様に計算できるようにする。</li> </ul>	
					1 関数
	12	2次関数とそのグラフ		2 2次関数とそのグラフ	
2次関数の値の変化					
三 学 期	1	4章 図形と計量	1 2次関数の最大値・最小値		
			2 2次関数のグラフと2次方程式		
			3 2次関数のグラフと2次不等式		
二 学 期	2	鋭角の三角比	1 タンジェント		
			2 サインとコサイン		
三 学 期	3	三角比の相互関係	3 三角比の応用		
			4 三角比の相互関係		
三 学 期	3	三角比の拡張	1 三角比と座標		
			2 三角比の相互関係		
<b>学年末考査</b>					

### 3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学的活動を通して、それぞれの分野における考え方に興味を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしているか。</li> <li>・ 年5回の定期考査、年3回の宿題テスト、提出物(週末課題の完成ノート、授業ノート、長期休業中の課題など)、スピードテスト、学習への参加状況を総合的に判断して評価します。</li> </ul>
-----------------	--

### 4 学習のアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業のノートは後から勉強するための大切な参考書であるということを考えて、自分自身で工夫して作成すること(黒板だけを写すのではなく、先生の発言で重要なものも書き留めること)。</li> <li>・ 学習への参加状況、提出物も高く評価するので、数学の苦手な人も普段の取り組みがしっかりできていればよい成績を取ることができるので頑張ってください。</li> </ul>
--

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
理科	理科総合A (物理分野)	普通科	1年	1	理科総合A 新訂版(実教出版)	高校物理の基礎 (数研出版)

1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	1 自然の事物・現象について観察、実験などを通して、エネルギーを中心に、自然の事物・現象を理解することができる 2 人間と自然とのかかわりについて考察し、自然に対する総合的な見方や考え方を養う
---------------------	---

2 学習計画

学期	学習内容		学習のねらいおよび到達目標
	単元	学習項目	
一学期	運動と力	・物体の運動と速さ ・速さの変化する運動 ・力の性質 ・いろいろな力 ・力と運動	・物体の運動の様子を数的に表すことができる ・物体の運動を速度、変位を使って表したり、運動の様子をグラフに表したりグラフを読み取ったりすることができる ・力のはたらきや種類について学び、物体に力が働いたときの運動の様子について理解する
二学期	仕事とエネルギー  熱エネルギー・電気エネルギー	・仕事とエネルギー ・運動エネルギー ・位置エネルギー ・力学的エネルギー保存の法則 ・熱と温度 ・熱と仕事 ・電流と電圧 ・電気エネルギー	・仕事の定義や力学的エネルギーの概念について理解する ・自然界には様々なエネルギーがあり他のエネルギーに移り変わることを理解する ・熱エネルギーの性質を学びそのエネルギーの活用や熱効率について理解する ・電流による発熱や仕事など電気エネルギーと熱エネルギーの移り変わりについて理解する
三学期	エネルギーの変換と保存	・エネルギーの変換と保存 ・エネルギーと人間生活 ・鉱物資源の開発と利用	・エネルギーには多くの種類があること、それらは互いに他のエネルギーに移り変わるが、エネルギーの総和は保存されることを理解する ・エネルギーには蓄積型のエネルギーと非蓄積型のエネルギーがあり、蓄積型の有限性について理解する ・金属、非金属資源の特性や有限性と人間生活との関わりについて理解する ・科学技術の成果と今後の課題について考察し、人間生活との関わりについて考える

3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの運動や日常的に利用されているエネルギーについて意欲的に探求しようとしているか(ノート、問題集、プリント、小テスト、考査)</li> <li>主体的に実験や観察を行い、結果を表やグラフ等を有効に活用したりして考察できたか (実験レポート、実験時の態度)</li> <li>エネルギーや資源の有効な活用と人間生活との関わりについて理解できたか(授業中の質問、発言)</li> </ul>
-----------------	---

4 学習のアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> <li>力やエネルギー等のように目に見えない量を扱う事が多いので図や絵を使い、時間をかけて考える</li> <li>理解できないことは積極的に質問する</li> <li>身の回りの自然現象に関心を持ち、学習内容と関連づけて考えてみる</li> </ul>
--

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
理科	生物 I	普通科	2 年	3	改訂版 生物 I (数研出版)	リードα 生物 I サイエンスビュー生物 総合資料

1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	生物的な事物・現象について観察実験などを行い、自然に対する関心や探求心を高め、生物的に探求する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解させ科学的な自然観を育成する。
---------------------	--

2 学習計画

学期	月	学 習 内 容		学習のねらいおよび到達目標
		単 元	学習項目	
一 学 期	4	細胞と個体の成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生命の単位</li> <li>・ 細胞膜と物質の出入り</li> <li>・ 細胞の働きと酵素</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ミクロメーターの目盛りの大きさを計算でき、使い方が理解する。</li> <li>・ 細胞小器官のつくりとその働きを理解する。</li> <li>・ いろいろな細胞をスケッチし、それぞれの特徴を理解する。</li> <li>・ 細胞の中でいろいろな酵素がはたらいっていることを理解する。</li> <li>・ 半透膜と浸透圧について理解する。</li> <li>・ 能動輸送・受動輸送を理解する。</li> </ul>
	5			
	6			
	7			
二 学 期	9	生殖と発生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生殖</li> <li>・ 生殖細胞の形成</li> <li>・ 動物と植物の生殖</li> <li>・ 動物の発生</li> <li>・ 動物の発生のしくみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有性生殖と無性生殖の違いを理解する。</li> <li>・ 卵と精子の形成の過程及び受精の過程を理解する。</li> <li>・ 種子植物の受精を理解する。</li> <li>・ ウニとカエルの初期発生の特徴を理解する。</li> <li>・ 卵割の様式について理解する。</li> <li>・ 調節卵とモザイク卵の違いを理解する。</li> <li>・ 形成体と誘導について理解し、目の形成の過程を理解する。</li> </ul>
	10			
	11			
	12			
三 学 期	1	遺伝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遺伝の法則</li> <li>・ いろいろな遺伝</li> <li>・ 遺伝子と染色体</li> <li>・ 遺伝子の本体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ メンデルの3つの法則を理解する。</li> <li>・ 遺伝の基礎用語を理解する。</li> <li>・ 検定交雑の意味を理解する。</li> <li>・ 独立と連鎖の違いを理解する。</li> <li>・ 性染色体の違いによる性決定様式を理解する。</li> <li>・ 連鎖・組換えについて理解する。</li> <li>・ DNA が遺伝子の本体であることを理解する。また、その作りと特徴について理解する。</li> <li>・ 形質転換について理解する。</li> <li>・ T2ファージの増殖について理解する。</li> </ul>
	2			
	3			

3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	定期考査の成績ををもとに平常の学習態度レポートや課題の提出状況を加えて総合的に判断する。
-----------------	--

4 学習のアドバイス

授業を基本に据え、教科書をよく読んで内容を理解し、問題集の例題などで基本知識を確認することが重要です。定期考査で解けなかった問題は充分見直し、覚えていない基礎事項をしっかりと覚え、わからないことは質問して理解するように努めることが大切です。
--

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
理科	生物 I	商業科	2 年	2	高等学校新編 生物 I (啓林館)	

1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	生物的な事物・現象について観察実験などを行い、自然に対する関心や探求心を高め、生物的に探求する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解させ科学的な自然観を育成する。
---------------------	--

2 学習計画

学期	月	学 習 内 容		学習のねらいおよび到達目標
		単 元	学習項目	
一 学 期	4	生物体 の構造 と機能	第 1 章 細胞の構造とはたらき ・細胞の発見と細胞説 ・いろいろな細胞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイクロメーターの目盛りの大きさを計算でき、使い方が理解する。</li> <li>・細胞小器官のつくりと働きを理解する。</li> <li>・いろいろな細胞をスケッチし、それぞれの特徴を理解する。</li> <li>・細胞の中の酵素のはたらきを理解する。</li> <li>・半透膜と浸透圧について理解する。</li> <li>・能動輸送・受動輸送を理解する。</li> <li>・体細胞分裂と減数分裂について、その染色体の動きの違いを理解する。</li> <li>・増殖した細胞が変化して組織で機能を果たすことを理解する。</li> <li>・単細胞生物がどのようにして多細胞生物に進化してきたのかを具体的な生物例を挙げて理解する。</li> </ul>
	5		・原核生物と真核生物	
	6		第 2 章 細胞の機能 ・細胞膜と水の浸透 ・選択的透過性物質の出入り ・細胞と酵素	
	7		第 3 章 細胞の増殖と分化 ・細胞分裂と染色体 ・細胞の分化 第 4 章 生物体の構造 ・単細胞生物多細胞生物 ・植物体・動物体の成り立ち	
二 学 期	9	生殖と 発生	第 1 章 生殖 ・有性生殖、無性生殖 ・減数分裂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有性生殖と無性生殖の違いを理解する。</li> <li>・卵と精子の形成の過程及び受精の過程を理解する。</li> <li>・種子植物の受精を理解する。</li> <li>・ウニとカエルの初期発生の特徴を理解する。</li> <li>・卵割の様式について理解する。</li> <li>・調節卵とモザイク卵の違いを理解する。</li> <li>・形成体と誘導について理解し、目の形成の過程を理解する</li> </ul>
	10		・植物と動物の発生	
	11		第 2 章 発生の過程 ・卵と卵割 ・ウニとカエルの発生	
	12		第 3 章 発生のしくみ ・卵の調節能力 ・胚の予定運命と決定 ・形成体と誘導	
三 学 期	1	遺伝	第 1 章 遺伝の法則 ・メンデルと遺伝の法則 ・さまざまな遺伝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンデルの実験を理解し導き出した法則について数的に理解する。</li> <li>・いろいろな比率でえられる分離比をメンデルの法則を使って説明する。</li> <li>・遺伝子が染色体に存在することを理解する。</li> <li>・連鎖する遺伝子の振舞と表現型の分離比を説明できる。</li> </ul>
	2		第 2 章 遺伝子と染色体 ・遺伝子と染色体 ・性染色体と性の決定 ・伴性遺伝	
	3		・遺伝子の連鎖、組換え ・染色体地図と唾液腺染色体	

3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	定期考査の成績ををもとに平常の学習態度レポートや課題の提出状況を加えて総合的に判断する。
-----------------	--

4 学習のアドバイス

授業を基本に据え、教科書をよく読んで内容を理解し、問題集の例題などで基本知識を確認することが重要です。定期考査で解けなかった問題は充分見直し、覚えていない基礎事項をしっかりと覚え、わからないことは質問して理解するように努めることが大切です。
--

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
理科	物理 I	普通科	2年	3	改訂版 高等学校 物理 I (数研出版)	トライアル物理 I ゼミノート物理 I

## 1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	物理的な事象・現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探求心を高め、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し科学的な自然観を育成する。
---------------------	--

## 2 学習計画

学習内容		学習のねらいおよび到達目標
単元	学習項目	
第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方	<ul style="list-style-type: none"> <li>直線運動の速度</li> <li>直線運動の加速度</li> <li>落体の運動</li> <li>平面内の運動 (発展)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均や瞬間の速さの考えをグラフや式を使って理解する。</li> <li>加速度の定義と等加速度直線運動を理解し、等加速度運動の公式を使いこなせる。</li> <li>ベクトルの分解や合成を用いて平面の運動を考えることができる。</li> </ul>
第2章 運動の法則	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな力</li> <li>力のつりあい</li> <li>運動の法則</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>力の定義と力はベクトル量で合成や分解ができること。2力や3力のつりあいを式やベクトルをつかって表せる。</li> <li>慣性の法則、運動方程式の考えを具体的な問題を解きながら理解する。</li> </ul>
第3章 仕事と力学的エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事</li> <li>力学的エネルギーの保存</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>剛体にはたらく力のつりあい</li> <li>仕事の定義、仕事の原理、仕事率などの意味を理解する。</li> <li>仕事とエネルギーの関係、力学的エネルギーとその保存則を具体的な問題を解きながら理解する。</li> </ul>
第4章 熱とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>熱と温度</li> <li>エネルギーの変換と保存</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>熱はエネルギーの一形態であることを理解する。</li> <li>熱量、熱容量、比熱などの定義を理解し、熱量保存を熱の移動、熱平衡を具体的な問題に当てはめ計算できる。</li> </ul>
第2編 波 第1章 波の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>波の伝わり方と種類</li> <li>重ね合わせの原理と波の干渉</li> <li>反射・屈折・回折</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>媒質の往復運動 (単振動) が遅れて伝わる現象が波動であること、波の要素や縦波等の考えを理解する。</li> <li>波の重ね合わせの原理から波の干渉を理解する。</li> <li>反射、屈折、回折の現象が説明できる。</li> </ul>
第2章 音	<ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝わり方</li> <li>発音体の振動</li> <li>ドップラー効果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音は空気を媒質とする縦波で高さ、大きさ、音色の三要素があることを理解する。</li> <li>弦や気柱の振動が腹や節をもつ定常波であり、固有振動により共振 (共鳴) 現象が起きること、音源や観測者の運動によりドップラー効果が起こることを理解する。</li> </ul>
第3章 光	<ul style="list-style-type: none"> <li>光の性質・進み方</li> <li>レンズ</li> <li>光の干渉と回折</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>光は電磁波の一種で波の基本性質をもち、光線には凸凹レンズによる写像公式が成立することを理解し、ヤング、回折格子の実験に干渉の条件式をあてはめ説明できる。</li> </ul>
「第3編 電気」は3年で学習します。		

## 3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然の事象について基本的な概念や原理・法則を理解しているか。(知識・理解)</li> <li>実験・観察を論理的に考察し結論を導くことができるか。(思考・判断)</li> <li>観察・実験の技能が身に付いているか。自らの考えを的確に表現できるか。(実験の技能・観察・表現)</li> <li>物理現象への関心を持ち、授業に意欲的に取り組んでいるか。(関心・意欲・態度)</li> </ul> <p>定期考査の成績をもとに小テスト、平常の学習態度、レポートや課題の提出状況を加えて総合的に判断します。</p>
-----------------	---

## 4 学習のアドバイス

<p>物理学には様々な物理量が出てきます。そして、その量と量の間にある法則が成り立ち、それが方程式の形で表され、その方程式を解くことによって様々な現象が説明できるしくみになっています。物理は一度に理解できるものではありません、学習した概念や法則を基本的な問題で繰り返し使ってみて初めて身に付くものです。そこで、物理の学習法としては教科書の練習問題や例題をていねいに解くことから始めます。次に、学校で指定された問題集で基本練習を繰り返します。入試対策では、いきなり難問奇問に取り組むのではなく物理の考え方の本道を行く良問を多く解くことが近道です。具体的には問題集の例題レベルを速く正確に解ける計算力を2年生のうちに身に付けておけば良いでしょう。</p>
---

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
理科	化学I	普通科	2年	3単位	化学I (実教出版)	標準セミナー(第一学習社)

1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	化学的な事物・現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を養う。
---------------------	--

2 学習計画

学期	学習内容		学習のねらいおよび到達目標
	単元	学習項目	
一 学 期	2節 酸と塩基 1 酸と塩基	酸性・塩基性 酸・塩基の定義 酸・塩基の分類	<ul style="list-style-type: none"> <li>酸と塩基(アルカリ)の基本的知識を復習し、抗酸の酸・塩基の定義を理解する。</li> <li>水のイオン積と水素イオン濃度、pHについて理解する。</li> <li>中和反応が基本的には<math>H^+ + OH^- \rightarrow H_2O</math>の反応であることを理解し、中和反応も量的関係と中和滴定について理解する。</li> <li>塩については、その組成による分類、加水分解などについて理解する。</li> </ul>
	2 水素イオン濃度とpH 3 中和 4 塩 3節 酸化還元反応 1 酸化と還元 A 酸化・還元 B 酸化数	水素イオン濃度 水素イオン指数 中和反応、中和滴定と滴定曲線 塩の水溶液の性質  酸化と還元 酸化数とその決め方	
二 学 期	3 酸化還元反応とエネルギー 3章 物質の性質 1節 非金属元素の性質	電池の原理とダニエル電池 電気分解  希ガス ハロゲン 酸素、硫黄 窒素、リン  炭素、ケイ素	<ul style="list-style-type: none"> <li>酸化還元反応を利用してエネルギーを取り出せることを理解する。我々の身近なものとして「電池」があることを知る。</li> <li>陰極、陽極で起こる反応をイオン反応式で書くことができる。</li> <li>ファラデーの法則を理解し、量的関係の計算ができる。</li> <li>希ガスの特徴について理解する。</li> <li>ハロゲンの単体、水素化物、塩化物について理解する。</li> <li>接触法について理解し、その化学反応式を書くことができる。</li> <li>ハーバー法、オストワルト法について理解し、一連の化学反応式を書くことができる。</li> <li>炭素の循環について理解し、その一連の化学反応式を書くことができる。</li> <li>ケイ酸塩工業と関連付けてケイ素およびケイ素の化合物に関する知識を身に付けている。</li> <li>アルカリ金属の単体、化合物に関する知識を身に付けている。</li> <li>アンモニアソーダ法について理解し、一連の化学反応式を書くことができる。</li> <li>2族元素の単体、化合物に関する知識を身に付けている。</li> <li>アルミニウムの単体、化合物に関する知識を身に付けている。</li> </ul>
	2節 金属元素の性質	アルカリ金属  2族元素 アルミニウム	
三 学 期	4章 有機化合物 1節 有機化合物の特徴と分類  構造式の決定	銅、銀、鉄 金属イオンの分離  有機化合物の特徴 炭化水素 官能基による分類 アルコール エーテル  組成式の決定 分子式の決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>銅、銀、鉄の単体、化合物に関する知識を身に付けている。</li> <li>金属イオンの反応を理解し、分離と確認ができる。</li> <li>有機化合物の特徴を知り、無機化合物について再確認する。</li> <li>炭化水素を分類し、構造異性体がすべて書くことができる。</li> <li>官能基による分類ができ、一般名、一般式を書くことができる。</li> <li>アルコールの分類ができ、それぞれの反応を化学反応式で書くことができる。</li> <li>元素分析の方法を理解し、炭素、水素、酸素の質量から簡単な整数比を求めることができる。</li> </ul>

3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質の名前と化学式が正確に対応しているか。</li> <li>正しい化学反応式を書くことができたか。</li> <li>電池や電気分解について、電子の動きから量的関係の計算ができたか。</li> </ul>
-----------------	--

4 学習のアドバイス

一時間一時間の授業に真剣に取り組もう。その日の授業の要点を自分なりにまとめてみよう。
--

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
保健 体育	体育	普通科 商業科	1	3		マイスポーツ

### 1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	自己の体力に応じて自主的に運動をする習慣を養い、心身の健全な発達を促進させるとともに、公正な態度及び相互協力の精神を養う。 合理的な活動によって技能を高め、生活における運動の意義について理解を深めさせる。
---------------------	---

### 2 学習計画

学 習 内 容 単 元 ・ 学 習 項 目	学習のねらいおよび到達目標
体づくり運動  集団行動 陸上競技  ハンドボール  バレーボール  武 道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動の楽しさや心地よさを味わうことによって身のこなしや心身の調子を整え、健康に関連する体力の向上を図る。</li> <li>・ 集団の約束やきまりを守って機敏・的確に行動する。</li> <li>・ 自己の能力に応じて各種目の基本技術を身につけ競技（スポーツテスト）したり、記録を高めたりすることができる。</li> <li>・ 基本的なパスやキャッチ、シュートを身につけ簡易ゲームを楽しむことができる。</li> <li>・ チームにおける自己の役割を自覚して協力し、他人を尊重して練習やゲームができる。</li> <li>・ 基本的なパスやレシーブ、サーブを身につけ簡易ゲームを楽しむことができる。</li> <li>・ チームにおける自己の役割を自覚して協力し、他人を尊重して練習やゲームができる。</li> <li>・ 伝統的な行動の仕方に留意して自己の能力に応じた技を習得する工夫ができる。</li> </ul>
体づくり運動 サッカー・バレーボール  ハンドボール  武 道 ダンス  （創作ダンス発表会）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボールを意図的に扱い、練習やゲームを工夫できる。</li> <li>・ 三段攻撃を使ったゲームができるようにチームで取り組むことができる。</li> <li>・ いろいろな場所からのシュート、フェイントを取り入れ速攻をおりませたゲームができるようにする。</li> <li>・ 対人的技能の基本を身につけ簡易ゲームができる。</li> <li>・ リズムに乗って体を動かすことの楽しさを味わうとともに基本的ステップを身につけいろいろなテーマからイメージにあった即興的表現ができる。</li> </ul>
体づくり運動 バスケットボール  武 道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的なパスやキャッチ、シュートを身につけ簡易ゲームを楽しむことができる。</li> <li>・ チームにおける自己の役割を自覚して協力し、他人を尊重して練習やゲームができる。</li> <li>・ 対人的技能を高め、得意技を身につける。</li> </ul>

### 3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自主的に運動する習慣を養い、心身の健全な発達を促進させることができたか。</li> <li>・ 活動を通して、公正な態度及び相互協力の精神を養うことができたか。</li> <li>・ 技能を高め、生活における運動の意義について理解を深めることができたか。</li> <li>・ 実施種目のスキルテストを実施する。</li> <li>・ 授業への関心や活動に対する参加意欲・態度、グループ内での相互協力を総合的に評価する。</li> </ul>
-----------------	--

### 4 学習のアドバイス

<p>元気に活動することが一番です。生涯を通じて運動に親しむことができるように、運動の仕方はもちろんのこと、機敏で的確な行動などの基本的な態度も身につけましょう。 また、仲間とのかかわり方にも配慮できることも大切です。 積極的に取り組みましょう。</p>
---

水見高校シラバス（様式）

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
保健 体育	保健	普通科 商業科	1	1	現代保健体育 (改訂版)	図説 現代保健

1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	身体的、精神的、社会的な健康について理解を深めるとともに健全な生活態度や公衆衛生についての関心を高める態度を養う。生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
---------------------	--

2 学習計画

学 習 内 容	学 習 内 容	学習のねらいおよび到達目標
単 元	学 習 項 目	
現代社会と健康	1. 私たちの健康のす が た 2. 健康のとらえ方 3. さまざまな保健活動 や対策 4. 生活習慣病と日常の 生活行動 5. 喫煙と健康 6. 飲酒と健康 7. 薬物乱用と健康 8. 医薬品と健康 9. 感染症とその予防 10. エイズとその予防 11. 健康にかかわる意志 決定・行動選択 12. 意志決定・行動選択 に必要なもの 13. 欲求と適応機制 14. 心身の相関とストレ ス 15. ストレスへの対処 16. 自己実現 17. 交通事故の現状と要 因 18. 交通社会における運 転者の資質と責任 19. 安全な交通社会 づくり 20. 応急手当の意義 とその基本 21. 心肺蘇生法 22. 日常的な応急手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わが国の健康水準や健康問題の変化について説明できる。</li> <li>・健康の成立要因や条件について説明できる。</li> <li>・行政や民間・国際機関が行う保健活動や対策を理解できる。</li> <li>・生活習慣病を具体的に説明できる。</li> <li>・喫煙問題をさまざまな角度から考えられるようになる。</li> <li>・飲酒問題をさまざまな角度から考えられるようになる。</li> <li>・薬物乱用の問題点をさまざまな角度から考えられるようになる。</li> <li>・医薬品を正しく使うためのポイントを理解する</li> <li>・感染症防止のために自分や社会がすべきことを説明できる。</li> <li>・エイズの実態を理解し防止のために自分や社会がすべきことを考えられる。</li> <li>・意志決定・行動選択の重要性を健康問題と関連させて説明できる。</li> <li>・適切な意志決定・行動選択に必要なことを具体的に用いて説明ができる。</li> <li>・欲求の種類や適応機制について説明できる。</li> <li>・心と体は、相互に影響しあうことを説明できる</li> <li>・ストレスに対しての自分なりの対処方法が考えられるようになる。</li> <li>・自分にとっての自己実現とは何か考えられるようになる。</li> <li>・わが国の交通事故の特徴や交通事故にいたる要因が説明できる。</li> <li>・運転者に必要とされるものを説明できる。事故を起こした場合に生じる責任や補償について具体的にあげることができる。</li> <li>・安全な交通社会を作るための方策について説明できる。</li> <li>・応急手当の意義や手順について説明できる。</li> <li>・心肺蘇生法を行うことができる。</li> <li>・日常的な応急手当や熱中症に対する適切な手当ができる。</li> </ul>

3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体的、精神的、社会的な健康について理解を深めることができたか。</li> <li>・健全な生活態度や公衆衛生について関心を高めることができたか。</li> <li>・定期考査、実践テストの成績と、授業中の意欲、態度、ノート点検など総合して評価する。</li> </ul>
-----------------	--

4 学習のアドバイス

人間にとって健康は一番大切なものです。現代では自分の毎日の生活習慣が健康を作ります。自分でしっかり考えて生活できるように心・体について知識を持ちましょう。
---

水見高校シラバス（様式）

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
芸術	音楽 I	普・商	1年	2	MOUSA 1	楽しく学べる 楽典教室

1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	表現と鑑賞の二つの領域に分かれており、表現領域では、歌唱・器楽・創作の三つの柱に沿って授業を行っている。音楽 I の目標は、音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てると共に、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばすことである。
---------------------	--

2 学習計画

学習内容		学習のねらいおよび到達目標
単元	学習項目	
伸び伸びと歌おう	校歌・発声の基本・呼吸法	発声の基本を理解させ、歌うことの楽しさを感じとらせる。
楽譜の基礎を理解しようパート1	音名・譜表・音符と休符について	これまでも習ってきている事柄であるが、仕組みをもう一度整理させ、副教材を使って演習させることにより、定着させる。
芸術歌曲に親しもう1	イタリア歌曲を原語で歌い、鑑賞する	イタリアの文化や歴史を知ることにより親しみを感じさせ、原語で歌うことによってさらなる良さを感じ取らせる。
リコーダーアンサンブル	きれいな鈴の音 涙そうそう 威風堂々	アンサンブルの楽しさを味わうために個人の技術を向上させる。アンサンブルの楽しさを味わわせると同時に、難しさを知る。発表を通して、演奏のマナーを知る。既習曲に出てくる記号等と照らし合わせながら理解させる。副教材を使用し、演習をさせ定着させる。
楽譜の基礎を理解しようパート2	拍子・楽語・省略記号	ドイツ歌曲を原語で歌い、良さを感じ取らせる。曲の持つ雰囲気を感じ、表現ができるように工夫させる。ドイツの文化や歴史を理解させることにより、親しみをもたせる。
芸術歌曲に親しもう2	ドイツ歌曲を原語で歌い、鑑賞する	日本語の持つ言葉の美しさを感じ取り、曲に合った表現の仕方や歌い方を工夫させる。
日本歌曲に親しもう	この道・まちぼうけ・荒城の月	ハンドベルの基本奏法を理解させるとともに、グループで発表させる。
ハンドベル	星に願いを、 エーデルワイス、 夜空のムコウ	

評価の観点・ 評価の方法	関心・意欲・態度、芸術的な感受や表現の工夫、創造的な表現の技能、鑑賞の能力の4つの観点から評価する。評価の方法としては、観察法、自己評価法、相互評価法の3点である。
-----------------	--

4 学習のアドバイス

実技試験やグループ活動、課題提出は学期末の評価に大きく関わってきます。ペーパーテストの点数だけでなくトータルで評価します。また、楽器や楽譜は音楽をする上で大切な道具です。丁寧に、大事に扱いましょう。
---

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
芸術	美術 I	普通科 商業科	1年	2	高校美術 I (日文)	

1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の幅広い創造活動を体験し、感性を高め、創造的な表現力と鑑賞の能力を伸ばす。</li> <li>・観察を伴う知的好奇心の向上と、イメージする力を養う。</li> </ul>
---------------------	---

2 学習計画

学 習 内 容		学習のねらいおよび到達目標
単 元	学習項目	
絵画 (鉛筆画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想像だけで描く</li> <li>・絵画的基礎【図法 (透視図法明暗法)】</li> <li>・観察して描く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎図形等の客観的な理解力を増し、イメージを具体化する足掛かりとしたい。</li> <li>又、観察によって基礎がどういかにされるのか、体験を積み重ねる。</li> </ul>
彫刻 (粘土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物のポーズ、ヒトのクローキ、動物の骨格等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物に様々なポーズをとらせる為に、骨組みの概念を検討する。</li> <li>・細部の緻密さの前に全体のバランスを考える。</li> </ul>
絵画 (着彩画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静物画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆画で学んだものの見え方を応用する。</li> <li>・基調色の違いで、様々な表現がある事を感じ取る。</li> </ul>
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色彩・意匠について</li> <li>・機能する形について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好みだけではない色の不思議さを学ぶ。</li> <li>・自転車の構造を学び、目的による形を考える。</li> <li>・ユニークな形について考える。</li> </ul>
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝達手段としてのイラストレーション</li> <li>・似顔絵としての自画像</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マーク・看板について調べ、実際に使用されているイラストレーションを考える。</li> <li>・様々な素材を使って、自由な発想を養う。</li> </ul>

3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	課題提出・レポート提出・小テスト 等 個々の技術的な優劣はあるが、各々の向上していきたいと思う意欲、工夫をより評価していきたい。
-----------------	---

4 学習のアドバイス

正しいもの、良いものが、必ずしもひとつとは限りません。安直に答えを求めず、「何故？」を大切にし、自分の言葉で「ああそうか」ができるまで、考える習慣をつけて下さい。
---

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
芸術	書道	普通科 商業科	1年	2	書道 I (教育出版)	

1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	小・中学校国語科書写の学習を基礎とし、多くの古典や古筆に触れ、感性を豊かにし、書を愛好する心情を育てる。
---------------------	--

2 学習計画

学 習 内 容		学習のねらいおよび到達目標
単 元	学習項目	
1. 書へのいざない 2. 漢字の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用具・用材・姿勢・執筆法</li> <li>・ 暮らしの中の書</li> <li>・ 書体の変遷</li> <li>・ 楷書の古典に学ぼう 孔子廟堂碑 九成宮醴泉銘 雁塔聖教序 顔氏家廟碑 唐の四大家 牛橛造像記</li> <li>・ 行書の古典に学ぼう 集王聖教序 蘭亭序 風信帖 争座位文稿</li> </ul>	正しい姿勢・執筆方法 ごく一般的なはがき・封筒の書き方 現代までの漢字の姿の推移 古典の書美と表現技法に関心を持つ 積極的に意欲的に取り組む
3. 仮名の書の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 隷書の古典に学ぼう</li> <li>・ 篆刻を学ぼう</li> <li>・ 仮名の基本用筆を学ぼう 平仮名 変体仮名</li> <li>・ 平安時代の古筆を学ぼう 高野切第三種 高野切第一種</li> </ul>	自分の落款印を作る。篆書・篆刻に興味を示し、真剣に取り組む 日本独自の仮名、身近な仮名の発生に関心と理解を導く
4. 漢字仮名交じりの書の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書きたい思いをことばに</li> </ul>	自分の思いを自分のことばで、自分の表現方法で現わす。

3 評価方法

評価の観点・評価の方法	古典・古筆の臨書では、用筆法・運筆法に関心を持ち、積極的に理解・表現しようとしているか。毎時間の清書の提出。
-------------	--

4 学習のアドバイス

机間巡視、添削、声掛け
-------------

平成20年度 シラバス

富山県立氷見高等学校

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
英語	英語 I	普通科	1年	3	World Trek English Course I (桐原書店)	教科書準拠予習・復習ノート 教科書準拠ワークブック (桐原)

1 学習の到達目標等

科目の概要及び到達目標	日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
-------------	--

2 学習計画

学 習 内 容		学習のねらいおよび到達目標
単 元	学習項目	
Lesson 1 We Have Hopes and Dreams	・基本文型(SV/SVC /SVO/SVOO /SVOC)	日本人の高校生正雄とインドネシア人高校生のアデューニの将来の夢を読み取ることができる。また、I'd like to be~を使って、将来の夢を伝えることができる
Lesson 2 We Love Ice Cream	・進行形 ・現在完了 ・疑問詞+動詞の原形	アイスクリームの歴史、おいしさの秘密、世界の様々なアイスクリームについて読み取ることができる。またWhy don't you ~?を使って相手を勧誘することができる。
Lesson 3 We Make Friends though Cambodian Dances	・受け身・不定詞(名詞的用法) ・現在分詞の形容詞的用法	カボジアの学校の状況を知った高校生が行った行動を読み取ることができる。また、これまで参加したボランティア活動について、伝えることができる。
Lesson 4 The Story of a Little Wooden Flute	・過去分詞の形容詞的用法 ・不定詞(形容詞的用法) ・that 節	原爆の被害から生き延びた被爆樹から笛が誕生するまでの経緯と、音楽家黒坂黒太郎さんの平和への祈りについて読み取ることができる。
Lesson 5 A Flying Wheelchair	・動名詞 ・不定詞(副詞的用法) ・It is+~(for 人) to 不定詞	車椅子で世界をめぐる木島英登さんが、旅先のドイツで体験した忘れられない出来事を読み取ることができる。また、卒業後にしたいことについて、伝えることができる。
Lesson 6 The Most Beautiful Sight in the World	・比較級 ・最上級 ・関係代名詞(who)	娘を美術学校へ行かせるために昼夜懸命に働く母親と、母親の気持ちに応えるために1枚の絵を描いた娘の気持ちを読み取ることができる。また家族について、関係詞を使って説明することができる。
Lesson 7 The Role of Zoos	・関係代名詞(which/that) ・what で始まる節	絶滅の危機にある動物を救うために、動物園で行われている試みについて読み取ることができる。また、過去に習慣的にやってきたことを説明することができる。
Lesson 8 Color Associations	・知覚動詞の用法 ・if/whether 節	国や地域、時代によって、人々が色から連想するものが異なることについて読み取ることができる。
Lesson 9 A Plastic That Returns to the Earth	・現在完了進行形・助動詞+受け身 ・比較を使った倍数の表現	竹コシから作られたプラスチックが、石油から作られたプラスチックと比較して優れている点や今後の課題について読み取ることができる。また地球環境を守るために、自分が進んでほしいことについて書くことができる。
Lesson 10 What is Meaningful International Cooperation?	・seem to不定詞 ・過去完了 ・It is 形容詞 that ~	国境無き医師団の一員としてアフリカで活動した山本敏晴さんが考える「意味のある国際協力」とは何か、読み取ることができる。また、自分が興味のある国とその国が抱える問題について説明することができる。

3 評価方法

評価の観点・評価の方法	定期考査の成績をもとに、提出物等の課題及び平常の学習態度を加えて総合的に評価する。
-------------	---

4 学習のアドバイス

「予習・復習ノート」を利用して必ず予習をし、分からないところを明らかにして授業に臨みましょう。授業では、話す・聴く・読む・書く等、積極的に活動に取り組み、様々な表現を身体で覚えましょう。授業後は、ノートに授業のポイントをまとめ、本文の音読筆写をし、書く力は家庭学習でしっかり身につけるようにしましょう。

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
英語	英語 I	商業科	1 学年	3	NEW WORLD ENGLISH COURSE I	WORKBOOK NEW WORLD

## 1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	中学英語の習熟度が、必ずしも一様ではないので、まず第一に、基本的事項の確認と理解を生徒に徹底させる。読む・書く・話す・聞くの4技能をバランスよくとりいれ、読解力と表現力の向上をめざす。 英語文化の背景への関心、意欲を高める工夫をして英語を学ぶ喜びを体得させる。
---------------------	---

## 2 学習計画

学 習 内 容		学習のねらいおよび到達目標
単 元	学習項目	
Lesson 1 Mother Earth	Mother Earth 主語と動詞	かけがえのない地球について詩形式でその素晴らしさを共感させる。
Lesson 2 How Green Are You?	How Green Are You? 疑問文・進行形	アンケートに答えながら、毎日に生活に関わる身近な環境問題を考えさせる
Lesson 3	My School Days 過去形・受身形	自叙伝風マンガから、少年時代の手塚治虫の友人を紹介し、平和について考えさせる
Lesson 4	Our Life 動名詞・否定文	車椅子で生活するカナダ人の描いた絵本から障害を持つということがどんなことか、読み取らせる
Lesson 5	The Serengeti 現在分詞・過去分詞	世界遺産のセレンゲティ国立公園を紹介し、自然と野生動物を守ることの大切さを学ばせる
Lesson 6	Soccer Balls to Afghanistan 不定詞	サッカー好きな大学生が戦争の後遺症の残るアフガニスタンのこどもたちを思いやる心中を察しさせる
Lesson 7	Her Choice as a Doctor 接続詞	国境なき医師団のメンバーである女性を通して自らの将来の生き方を考える一助とさせる
Lesson 8	Senryu in English 助動詞・命令文	英語の川柳を通して感じていることや考えていることを簡潔に表現する機会を与える
Lesson 9	What a Wonderful World 関係代名詞・関係副詞	トランペット奏者の人生から音楽と生き方を英文で読み取らせる
Lesson 10	Student Life in Sweden 比較・現在完了	インターネットを通してスウェーデンの高校生のHPにたどりつき、ネットの上での会話の妙味を味わわせる
Lesson 11	What is Love? 知覚動詞・使役動詞	サリバン先生の助けで人間愛を理解するようになるヘレンケラーを通して生き方と伝達について学ばせる
Lesson 12	A Letter to Vietnam 過去完了	ベトナムへの訪問を通して多文化共生のありかたについて理解させる

## 3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	定期考査、小テスト、ワークブックやノートの提出、授業への取り組み方、意欲など
-----------------	--

## 4 学習のアドバイス

ノートの作り方、音読の効用について繰り返し指導
-------------------------

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
家庭	家庭基礎	普通科	1 学年	2	家庭基礎 (第1学習社)	ニューライブラリー家庭科 (実教出版) 新 調理実習テキスト

1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上を図る能力を養います。 学習したことが生活に生かせるような実践的な態度を育てます。
---------------------	--

2 学習計画

学 習 内 容		学習のねらいおよび到達目標
単 元	学習項目	
消費を考える	消費生活と環境	国民経済の中の家計の役割、家計の中の収支の構造について理解し、将来の生活設計について考えます。 社会の変化に伴う消費生活の変化について理解し、これからの消費者のあり方を考えます。 被服の機能と健康について理解し、被服と社会生活との関わりを学びます。 気候風土、生活様式に根ざした住まいを知り、ライフステージに沿った住まい、住まいと健康の関係、環境に優しい住まいについて考えます。 生活の中から課題を見つけ、問題解決に向けて思考を深め、身に付いた知識や技術を生かして実践します。 乳幼児の心身の発達の特徴を理解し、親の役割について考え、子育ての社会的支援や児童福祉について学びます。 加齢による心身の変化を理解し、高齢者に対する理解を深め、高齢者をささえる社会システムの概要を知り、高齢者の自立支援のために家族、地域、社会の果たす役割について考えます。 社会の大きな変化とともに人の生き方や意識が多様化している中で自分の将来設計について考えます。 食生活の科学と文化に関心を持ち、栄養、食品、調理などについて科学的に理解し、食生活を充実向上させるために必要な知識や技術を身に付けます。
装う	私たちの暮らしと被服	
住まう	私たちの暮らしと住まい	
学習を生かす	ホームプロジェクト	
保育と高齢者福祉	(1) 乳幼児の心身の発達 (2) 親の役割と保育 (3) 高齢者の生活と福祉	
人の一生と家族・家庭	(1) 家族・家庭と社会 (2) 私たちの将来設計	
食べる	(1) 私たちの暮らしと食生活 (2) 栄養と食品 (3) 献立と調理	

3 評価方法

評価の観点・評価の方法	評価の観点は、「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」です。特に知識や技能だけでなく、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力も重視します。 評価の方法は、教師による観察、生徒の自己評価・相互評価、作品、ノート、レポート、筆記試験、実技試験等で行います。
-------------	---

4 学習のアドバイス

学習したことを実際の生活に生かすよう、実践しましょう。
-----------------------------

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
家庭	家庭総合	商業科	2 学年 3 学年	2 (2 年次) 2 (3 年次) 合計 4	家庭総合 自立・共生・創造 (東京書籍)	ニューライブラリー一家 庭科 (実教出版) 新 調理実習テキスト

1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などの関する知識と技術を総合的に習得させ、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てます。
---------------------	--

2 学習計画

学 習 内 容		学習のねらいおよび到達目標
単 元	学習項目	
心地よく着る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「着る」とは</li> <li>・被服の材料</li> <li>・被服の構成と管理</li> </ul>	<p>衣生活の科学と文化について学びます。被服材料、被服の構成、被服製作、被服整理などについて科学的に理解し、衣生活を充実向上させるために必要な知識や技術を身に付けます。</p> <p>気候風土、生活様式に根ざした住まいを知り、ライフステージに沿った住まい、住まいと健康の関係、環境に優しい住まいについて考えます。</p> <p>生活の中から課題を見つけ、問題解決に向けて思考を深め、身に付いた知識や技術を生かして実践します。乳幼児の心身の発達の特徴を理解し、親の役割について考え、子育ての社会的支援や児童福祉について学びます。</p> <p>加齢による心身の変化を理解し、高齢者に対する理解を深め、高齢者をささえる社会システムの概要を知り、高齢者の自立支援のために家族、地域、社会の果たす役割について考えます。</p> <p>国民経済の中の家計の役割、家計の中の収支の構造について理解し、将来の生活設計について考えます。社会の変化に伴う消費生活の変化について理解し、これからの消費者のあり方を考えます。</p> <p>食生活の科学と文化に関心を持ち、栄養、食品、調理などについて科学的に理解し、食生活を充実向上させるために必要な知識や技術を身に付けます。</p> <p>社会の大きな変化とともに人の生き方や意識が多様化している中で自分の将来設計について考えます。</p>
快適に住む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいについて考える</li> <li>・健康的な住まい</li> <li>・安全な住まい</li> </ul>	
学習から実践へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームプロジェクト</li> </ul>	
共に育つ親と子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いのちの誕生</li> <li>・子どもの育つ力</li> <li>・健やかに育つ環境づくり</li> </ul>	
高齢者と共に生きる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の生活と社会</li> <li>・高齢者を理解する</li> <li>・これからの高齢社会</li> </ul>	
消費者として生きる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合う暮らし</li> <li>・消費行動と資源・環境</li> <li>・これからの消費生活</li> </ul>	
楽しく食べる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養・栄養素と食品</li> <li>・食生活の設計</li> <li>・日常食の調理</li> </ul>	
自分らしく生きる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を見つめる</li> <li>・自分らしく生きる</li> </ul>	
自分の人生をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの家族・家庭</li> </ul>	

3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	<p>評価の観点は、「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」です。特に知識や技能だけでなく、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力も重視します。</p> <p>評価の方法は、教師による観察、生徒の自己評価・相互評価、作品、ノート、レポート、筆記試験、実技試験等で行います。</p>
-----------------	--

4 学習のアドバイス

学習したことを実際の生活に生かすよう、実践しましょう。
-----------------------------

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
情報	情報B	普通科	1年	2単位	新版 情報B 情報の科学的な理解 (開隆堂)	新版 情報B 情報の科学的な理解 サブノート (開隆堂)

1 学習の到達目標等

科目の概要及び到達目標	コンピュータにおける情報の表し方や処理の仕組み、情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解させ、問題解決においてコンピュータを効果的に活用するための科学的な考え方や方法を習得させる。
-------------	---

2 学習計画

学習内容		学習のねらいおよび到達目標
単元	学習項目	
1章 情報社会とコンピュータ	1節 情報社会に生きるわたしたち 2節 問題解決とコンピュータの活用	・情報化の進む社会について知り、わたしたちの生活や身近な問題について考える。 ・問題解決の特徴を理解し、情報処理を念頭において問題解決の流れや手順について学ぶ。
2章 コンピュータのしくみと働き	1節 コンピュータにおける情報の表現 2節 コンピュータを利用した情報処理 3節 コンピュータ利用の工夫	・さまざまな情報をコンピュータ上で表すための基本的な考え方を学ぶ。 ・コンピュータ内部での処理のしくみについて学ぶ。 ・コンピュータを利用したデータ処理における工夫の必要性について学ぶ。
3章 問題のモデル化とコンピュータの活用	1節 モデル化とシミュレーション 2節 シミュレーションによる問題の解決	・モデル化とシミュレーションの特徴を知る。 ・実習を通じてわたしたちの身のまわりにあるさまざまな現象のモデル化とシミュレーションの方法を学ぶ。
4章 情報の蓄積・管理とデータベース	1節 情報の検索と蓄積・管理 2節 データベースの作成	・さまざまな情報検索手順の特徴を知り、情報の蓄積・整理の必要性について学ぶ。 ・データベースの概念と設計方法について学ぶ。
5章 情報技術の進展と社会の影響	1節 情報技術の進展 2節 情報社会の進展が社会に及ぼす影響	情報社会を支える情報技術の役割と問題点を学ぶ。 情報化社会の問題点とその対処法について学び、情報モラルについての意識を向上する。

3 評価方法

評価の観点	・コンピュータにおける情報の表し方や処理の仕組みに関心を持ち、問題解決においてコンピュータを効果的に活用しようとするとともに、情報社会に主体的に対応しようとする。
評価の方法	授業に対して意欲・関心を持ち積極的に取り組んでいるか。また、知識を深めようと努力し社会に生かそうとしているか。実習ごとに提出物を提出しているか。上記のことをふまえて、定期考査の結果を加えて総合的に評価する。

4 学習のアドバイス

「情報B」は、情報の考え方の基礎となる科学や技術を学び、問題を解決する能力を身につけていく科目です。また、情報社会で生きていくための知識や態度を身につけ、情報モラルの重要性についても覚えていきます。
---

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
商業	簿記	商業科	1年	5	新簿記 実教出版	最新段階式簿記検定問題集全商3級 最新段階式簿記検定問題集全商2級 簿記実務検定模擬試験問題集2級

1 学習の到達目標等

科目の概要及び到達目標	<p>1 企業において日常発生する取引を仕訳し、勘定記入を経て、決算に至る簿記の基本的な仕組みについて理解する。</p> <p>2 帳簿や財務諸表を通して、ビジネスの諸活動を計数的に把握する態度を育てる。</p>
-------------	--

2 学習計画

学習内容 単元	学習のねらいおよび到達目標
第1章 簿記の基礎 第2章 資産・負債・資本と貸借対照表  第3章 収益・費用と損益計算書 第4章 取引と勘定 第5章 仕訳と転記  第6章 仕訳帳と総勘定元帳  第10章 現金・預金などの取引  第11章 商品売買の取引  第12章 掛け取引 第13章 手形の取引  第14章 有価証券の取引 第15章 その他の債権・債務の取引 第16章 固定資産の取引 第17章 個人企業の資本と税金  第23章 伝票 第19章 決算整理  第20章 8桁精算表 第21章 帳簿決算と財務諸表の作成（その1） 第26章 特殊な商品売買の取引  第27章 特殊な手形の取引  第28章 仕訳帳の分割  第29章 5伝票による記帳 第30章 本支店の取引  第24章 決算整理（その2）  第25章 財務諸表の作成（その2）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簿記の学習の意味・役割を明らかにして記帳の重要性を理解する。</li> <li>・資産・負債・資本の意味を明らかにし、これらの相互関係を理解し、財産法による純損益の計算方法を理解する。</li> <li>・収益・費用の意味を明らかにし、損益法による純損益の計算方法を理解する。</li> <li>・簿記上の取引の意味と仕訳を理解する。・勘定記入法を習熟する。</li> <li>・仕訳の意味を明らかにし、各種の取引の仕訳を習熟する。</li> <li>・仕訳を勘定口座に転記する方法を理解する。</li> <li>・仕訳帳の記帳を習熟する。</li> <li>・総勘定元帳への仕訳帳からの転記を習熟する。</li> <li>・現金に関する記帳方法と現金出納帳の記帳方法を理解する。・当座預金に関する記帳方法と当座預金出納帳の記帳方法を理解する。</li> <li>・小口現金のシステムと小口現金出納帳の記帳方法を理解する。</li> <li>・3分法による商品売買の記帳方法を理解する。</li> <li>・仕入帳・売上帳・商品有高帳の記帳方法を習熟する。</li> <li>・掛け取引の意味を明らかにする。</li> <li>・売掛金元帳・買掛金元帳の記帳方法を習熟する。</li> <li>・約束手形・為替手形のしくみを理解し、記帳方法を習熟する。</li> <li>・手形記入帳の記帳方法を習熟する。</li> <li>・有価証券の意味と計算の仕方、記帳方法を理解する。</li> <li>・各種の債権・債務について、その違いや記帳方法を理解する。</li> <li>・固定資産の意味と種類を明らかにし、記帳方法を理解する。</li> <li>・個人企業における資本の元入れ、引き出しなどの記帳方法を理解する。税金の記帳方法を理解する。</li> <li>・3伝票の起票方法を習熟する。</li> <li>・決算整理の必要性を理解し、商品に関する勘定の整理、貸し倒れの見積り、減価償却費の処理法の記帳方法を習熟する。</li> <li>・8桁精算表の作成に習熟する。</li> <li>・決算手続き全体の流れを理解し、損益計算書と貸借対照表の作成に習熟する。</li> <li>・委託販売、割賦販売、試用販売の販売方法および未着商品売買の意味を明らかにし、それぞれの記帳方法を理解する。</li> <li>・自己受為替手形、手形の書き換え、不渡手形、荷為替の意味を明らかにし、それぞれの記帳方法を理解する。</li> <li>・特殊仕訳帳の意味を明らかにし、現金出納帳・当座預金出納帳・仕入帳・売上帳を特殊仕訳帳として用いる場合の記帳、集計、転記の仕方を理解させる。</li> <li>・仕入伝票・売上伝票の起票の仕方を理解する。</li> <li>・支店会計が独立している場合の本支店の取引、支店相互間取引の記帳方法を理解する。</li> <li>・費用と収益の繰り延べ・見越しの意味とそれぞれの記帳方法を理解・習熟する。</li> <li>・貸し倒れの洗替法、減価償却の間接法、有価証券の評価替えなどの記帳方法を理解・習熟する。</li> <li>・費用と収益の繰り延べ・見越し、洗替法、間接法、有価証券評価などを含めた財務諸表の作成について理解する。</li> </ul>

3 評価方法

評価の観点・評価の方法	<p>簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、いろいろな処理法・記帳法についての基礎的・基本的知識や技術を身につけ、簿記の基本的しくみについて理解している。</p> <p>以上の観点から、定期考査の成績、検定試験の成績、出席状況、提出物（問題集・プリント、長期休暇中の宿題等）を総合して成績評価を行います。</p>
-------------	--

4 学習のアドバイス

<p>簿記のポイントは、授業内での理解プラス記帳練習（復習）です。実務の科目ですから実際に正しく、迅速に記帳することが必要です。したがって、教科書を読み、授業を受け、問題集を解きます。学習効果を上げるには、何回も繰り返し記帳練習をすることです。できるだけ、数多くの問題にチャレンジし、間違えた問題は繰り返し記帳練習にあたり、理論と実務を学習することが大切です。</p>
--

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
商業	情報処理	商業科	1年	3	情報処理 (一橋出版)	模擬問題集2. 3級 ワープロ検定模擬試験問題 集3級 (実教出版)

1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	情報処理機器の活用に関する知識と技術を習得し、ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割について理解するとともに、情報を適切に収集、処理し活用する能力と態度を育てる。
---------------------	--

2 学習計画

学 習 内 容		学習のねらいおよび到達目標
単 元	学習項目	
第1章 ビジネスと情報処理	1 ビジネスとコンピュータ 2 ハードウェアとソフトウェア 3 情報モラルとセキュリティ管理	・ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割について理解するとともに、コンピュータシステムおよびハードウェアとソフトウェアの概要について理解する。また、最近問題になっている情報モラルやセキュリティについても理解する。  ・表計算ソフトで、各種関数を利用して表やグラフの作成を実習を通して習得する。
第2章 表計算ソフト活用の基礎	1 ビジネスと表計算ソフト 2 関数の利用 3 グラフの利用と作成 4 表計算ソフトの応用	
ワープロ検定3級対策	タッチタイピングの練習 3級速度・文書・筆記	・中間考査以降、6月のワープロ検定に向け練習。 ・タッチタイピングができるよう、基本練習から実践練習を行う。 ・3級実技(文書)及び筆記試験に向け、ワードの操作を習得する。
第3章 ビジネス情報と情報通信ネットワーク	1 情報通信ネットワーク 2 ビジネスと情報通信ネットワーク 3 情報の収集とレポートの作成	・ビジネス情報と情報通信ネットワークに関する技法を習得する。
第4章 データベースソフト利用の基礎	1 ビジネス情報とデータベース 2 データベースソフトの利用	・データベース利用の基礎的知識を習得する。
第5章 ビジネスの計算と表計算ソフト	1 ビジネスの計算と表計算ソフト 2 金融に関する計算 3 証券投資に関する計算	・財務関数を題意にあわせて使いこなすことができる。 (VLOOKUP関数、HLOOKUP関数、SUMIF関数、INDEX関数の違いを理解し、題意から適切な関数を実習を通して設定できるようにし、情報処理検定(ビジネス情報)2級取得を目指す。)
情報処理検定(ビジネス情報)2級対策	ハードウェア・ソフトウェア・通信ネットワーク・情報モラルとセキュリティ管理に関する知識等	・情報処理検定(ビジネス情報)2級取得に向け実技及び筆記試験をマスターする。 ・情報処理検定(ビジネス情報)2級受験

3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	ビジネスと情報処理に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、情報の意義や役割を理解しているか。また表計算ソフトウェアの使用において論理的な思考ができるか。表計算ソフトウェアのさまざまな機能を利用し、ビジネスに有用なわかりやすい表、グラフを作成することができるか。ビジネスの諸活動と情報処理のかかわりについて関心を持ち、表計算ソフトウェアの活用に関心を持ち、自分から進んで意欲的に取り組んでいるか。
-----------------	---

4 学習のアドバイス

・実習が多いので、しっかりと説明を聞いて、授業中にしっかりと理解できるように熱心に実習に取り組みましょう。できないところ、わからないところは、遠慮しないで質問してください。また、朝、放課後等コンピュータ室をあけておきますので、積極的に練習してください。
--

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
商業	ビジネス基礎	商業科	1年	2	ビジネス基礎 実教出版	ビジネス基礎問題集

## 1 学習の到達目標等

科目の概要及び到達目標	ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得し、経済社会の一員として望ましい心構えを身に付けるとともに、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を学習する。
-------------	---

## 2 学習計画

学 習 内 容		学習のねらいおよび到達目標
単 元	学習項目	
第1章 商業の学習ガイダンス	1 商業を学ぶ目的 2 商業の学習分野	・ 商業を学ぶ目的、流通ビジネス、国際経済、簿記会計及び経営情報の4分野とその学び方、卒業後の進路などについてガイダンスを受け、継続学習の中で専門的能力を身に付けることの重要性について理解し、学習の動機付けを図る。
第2章 経済生活とビジネス	1 経済のしくみとビジネス 2 ビジネスの役割 3 ビジネスの発展 4 ビジネスに対する心構え	・ 経済生活を支えるビジネスの役割、ビジネスの発展及びビジネスに対する望ましい心構えや考え方について具体的な事例を通して理解する。
第3章 ビジネスと流通活動	1 経済活動と流通 2 流通の特徴 3 流通活動と企業 4 ビジネスの担当者	・ 経済活動における流通の意義や役割及び経済的特質について、生産から消費にいたる役割分担の変化や小売業の業種、業態の変化と絡めて理解する。 ・ 流通活動の担い手である企業について、さまざまな角度から考察するとともに、生産者、卸売業、小売業、金融・保険業、運輸・通信業、サービス業などの役割や仕事の概要について理解する。
第4章 ビジネスと売買取引	1 売買取引と代金決済 2 売買に関する計算	・ 流通活動における売買取引、代金決済の仕組み及び売買計算の基礎的・基本的な内容について理解する。
第5章 外国人とのコミュニケーション	1 コミュニケーションの心構え 2 コミュニケーションの方法 3 日常の会話	・ 外国人とのコミュニケーションに関心を持ち、国内においてビジネスで外国人に接する場合の方法や心構えおよび日常の会話に親しみ、コミュニケーションに必要な基礎的な能力と態度を習得する。
全商商業経済検定対策		・ 全商商業経済検定3級合格を目指し、問題演習を行う。

## 3 評価方法

評価の観点・評価の方法	商業を学ぶ目的や学び方を理解するとともに、ビジネスの諸活動に広く関心をもっている。ビジネスに関する基礎的・基本的な知識を身につけ、経済社会の一員としての望ましい心構えや態度を身につけている。 以上の観点から定期考査の成績をもとに、平常の学習態度、レポートや課題の提出状況を加えて総合的に判断する。
-------------	---

## 4 学習のアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この科目は、商業科で学習を始めるにあたってのガイダンス的な科目です。</li> <li>・ 授業を真剣に受け、ノートは必ずとり、まとめのワークブックもしっかりやりましょう。</li> <li>・ 授業の説明を聞いてよくわからないときは、必ず質問をしましょう。わからないままにはしないこと。</li> </ul>
--

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
商業	課題研究 (チャレンジショップ)	商業科	3年	3	なし	なし

1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。
---------------------	---

2 学習計画

学 習 内 容		学習のねらいおよび到達目標
単 元	学習項目	
販売実習（1）	商品計画 仕入計画 出資金集め  仕入 販売促進 （ポスター、CM制作、POP広告の作成）  販売実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒主体で販売実習をするため、生徒で考えた内容を重視し、販売活動に必要な役割を考えることができる。</li> <li>・取り扱う商品や店舗設計、広報活動など、一連のマーケティング活動をいかに能率的に業務が遂行できるかを考えることができる。</li> <li>・仕入れ先への連絡では、総合実践で学習した「電話のかけ方」、CM制作ではマーケティングの「販売促進」など各科目の単元を復習し、経営活動に反映させることができる。</li> <li>・仕入れ代金や釣り銭用のお金を過不足がでないように管理することができる。</li> <li>・販売実習当日では売れ具合を見ながら、有効な商品の陳列レイアウトや販売促進活動を考え、それを実践することができる。</li> </ul>
販売実習（2）	実施報告書の作成  チャレンジショップ 報告会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簿記会計に基づいて、財務諸表を作成し、収支決算報告をすることができる。</li> <li>・1年の活動の成果を文書化し、課題研究で取り組んできたことを文集としてまとめる。</li> <li>・コンピュータを用いた発表を通して、プレゼンテーションの効果的な方法を考え、工夫することができる。</li> </ul>
まとめ	氷見市の活性化について考える  「後輩へのメッセージ」作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・氷見市の商業や観光などを調査し、現状の課題を見つけることができる。また、活性化や繁栄に向けて何が必要かを考察することができる</li> </ul>

3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	販売実習について基本的な概念を理解しているか。販売実習について一連の経営活動を考察し、結論に導くことができるか。販売実習に対応する技能が身に付いているか。自らの考えを的確に表現できるか。販売実習への関心を持ち、授業に意欲的に取り組んでいるか。
-----------------	---

4 学習のアドバイス

商業科で2年間、授業で学習してきたことを実践活動を通して、総合的に学習するのが目的です。生徒自らが販売実習の企画、立案をします。生徒は企業と同じように担当部署に分かれ、社長などの管理職や担当部署の部長を決定。それぞれの仕事を分担し、業務を進めていきます。仕入れ交渉やCM制作、出資金の募集なども生徒主体で取り組みます。経営の難しさや地域の方々との触れあいは、学校では学習できない要素が多くあり、そのことが実社会で役に立つ内容にもなるので、特に就職希望者は有意義な学習になります。

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
商業	課題研究 (小論文班)	商業科	3年	3	なし	小論文頻出テーマ 「チェック＆ワーク」

1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。
---------------------	---

2 学習計画

学 習 内 容		学習のねらいおよび到達目標
単 元	学習項目	
「生活・社会」 「環境」 「国際化」 「日本語」・「日本人」 「教育」 「福祉」 「政治経済」 「情報・メディア」 「科学技術」「医療」 各自の進路に応じた研究 時事問題まとめ		「生活・社会」に関する諸課題を自分なりに把握・分析し、その諸課題への対応を、小論文にまとめることができる。 「環境」に関する諸課題を自分なりに把握・分析し、その諸課題への対応を、小論文にまとめることができる。 「国際化」に関する諸課題を自分なりに把握・分析し、その諸課題への対応を、小論文にまとめることができる。 「日本語・日本人」に関する諸課題を自分なりに把握・分析し、その諸課題への対応を、小論文にまとめることができる。 「教育」に関する諸課題を自分なりに把握・分析し、その諸課題への対応を、小論文にまとめることができる。 「福祉」に関する諸課題を自分なりに把握・分析し、その諸課題への対応を、小論文にまとめることができる。 「政治経済」に関する諸課題を自分なりに把握・分析し、その諸課題への対応を、小論文にまとめることができる。 「情報・メディア」に関する諸課題を自分なりに把握・分析し、その諸課題への対応を、小論文にまとめることができる。 「科学技術・医療」に関する諸課題を自分なりに把握・分析し、その諸課題への対応を、小論文にまとめることができる。 ① 各自の進路に応じた過去の問題例を進学資料室やインターネット等を活用して調べる。 ② 最近のニュースや新聞に出てくる経済等の時事用語を調べ、書籍やインターネットを活用して調べ、まとめる。 今までの成果を文書化し、効果的な小論文学習の在り方について文集としてまとめる。

3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	時事問題について基本的な概念や原理・法則を理解しているか。 時事問題を論理的に考察し結論を導くことができるか。 時事問題に対応する技能が身に付いているか。自らの考えを的確に表現できるか。 時事問題への関心を持ち、授業に意欲的に取り組んでいるか。 以上の観点から 小テスト、平常の学習態度、レポートや課題の提出状況を加えて総合的に判断する。
-----------------	---

4 学習のアドバイス

現代には様々な諸問題が存在する。高校生の君たちにとって、現在の知識から解決法を導くことは困難である。まずそのテーマに対して知識を増やさねばならない。知識があつてはじめて対応策も検討ができるものだ。 もちろん、現代の諸課題に対して専門家でもなかなか有効な政策を打ち出すことができない中、高校生の君たちが、対応策を検討すること自体は非常に困難なことだ。しかし君たちの問題意識をしっかりと示せばよいのである。 専門家の中でも議論となっている様々な現代の問題に対して、高校生なりに考えてみようではないか。
--